

ほたるの里から長崎をかえよう!!

千人の集い



嘉田由紀子(かだゆきこ)

前滋賀県知事、元環境社会学会会長

環境社会学者として1970年代から琵琶湖と人びとのかかわりを研究。琵琶湖博物館総括学芸員、京都精華大学教授を経て、2006年から2014年まで滋賀県知事。6つのダムの凍結・中止、ダムに頼らない「流域治水条例」を全国で初めて実現。



今本博健(いまもとひろたけ)

京都大学名誉教授

専門は河川工学。2001年に設置された淀川水系流域委員会で「ダムは原則として建設しない」との提言をとりまとめた。ダムに頼らない治水を実現するには基本高水を設定しない「非定量治水」に転換すべきと提唱している。



鎌仲ひとみ(かまなかひとみ)

映像作家

核や被ばく、原発の問題を入口に、人の命や暮らしを見つめるドキュメンタリー映画を世に送り出し続けている。「ヒバクシャー世界の終わりに」「六ヶ所村ラブソフィー」「ミツバチの羽音と地球の回転」(核を巡る3部作)「内部被ばくを生き抜く」。この4本は国内外3000ヶ所で上映。最新作「小さき声のカノン」は世界8カ国で上映。多摩美術大学非常勤講師。ぶんぶんフィルムズ代表。



山田英治(やまだえいじ)

ソーシャルクリエイティブプロデューサー/映画監督

早稲田大学政経学部卒業後、(株)博報堂にコピーライターとして入社。CMプランナーとして数々のTVCMを制作。2000年より映画制作をスタート。「鍵がない」(つぐみ、大森南朋出演)で劇場公開デビュー。脚本家としてNHK「中学生日記」に参加。ラジオ番組の構成、作詞など、多岐にわたる活動を展開。2011年の東日本大震災後は、社会課題をクリエイティブのスキルを活用して解決していくソーシャルクリエイティブプロデューサーとして様々な社会テーマの広報やコンテンツ開発、地方自治体のブランディングを担当。2018年4月より独立。



渡辺洋子(わたなべようこ)

群馬県在住。2002年～ハッ場ダムを考える会事務局

06年、コンサート「加藤登紀子と仲間たちが唄うハッ場命の輝き」を契機に発足したハッ場あしたの会事務局。共著に「ハッ場ダム 過去・現在・未来」(岩波書店)。

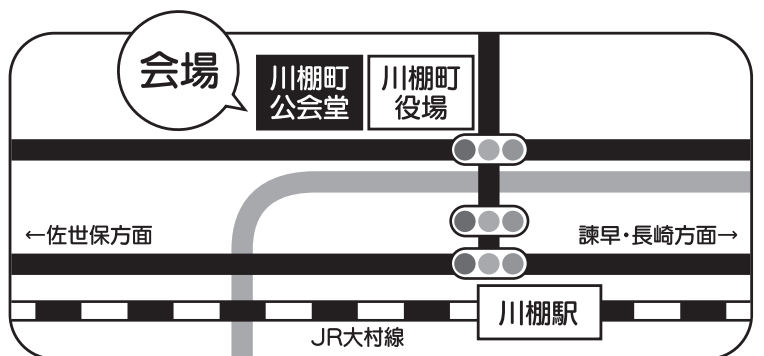
●この集いの運営経費の 資金カンパをお願いします。

振込先:長崎県中央農業協同組合
川棚支店 普通口座
口座名:石木川とほたるの里を守る会
口座番号:0066043

主催
問い合わせ

ほたるの里から長崎をかえよう!!千人の集い実行委員会

TEL 090-9608-4333 田代(長崎地区)
090-6171-5810 松本(佐世保地区)
090-4519-2528 炭谷(東彼杵地区その他)
FAX 020-4668-3744
MAIL tsuchi_tk@ybb.ne.jp



出来るだけ公共交通のご利用をお願いします。またマイカーでご来場の際は、乗り合わせをお願いします。